

男女共同参画情報誌

～わたしたちの望む社会へ～

T R Y とらいあんぐる

第10号

皆さん、男女共同参画という言葉をご存じですか。

薩摩川内市では、平成17年4月「男女共同参画基本条例」を施行しました。

この情報誌は、市民の皆さんと意見の交換をしながら一緒に「男女共同参画社会」を築くことを目標にしています。

参子 最近、少子化がよく話題になっているけれど、三十万という命がこの世に生まれてくる権利を奪われている現実があることは、あまり取り上げられないわね。それは聞き捨てならない情報ね。どうということ？

画子 平成十六年度厚生労働省調査の人工妊娠中絶件数よ。二十歳未満の割合が増えてきているらしいわ。

参子 ショッキングな数字ね。でもやっぱりそれって大都会に集中してるんじゃないよ。

画子 そう思いがちだけど大都市も地方都市も割合はあまり変わらないのよ。そして川薩地区の二十歳未満の人工妊娠中絶率は県内でもとても高いってこともあまり知られてないわね。

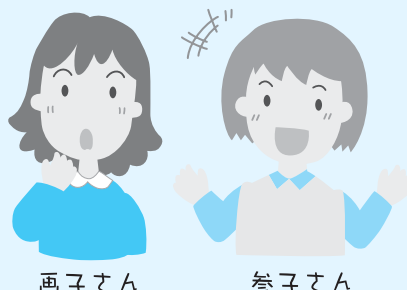
参子 ええ、そうなの。どれくらい？

画子 平成十五年では、県平均の一・

男女共同参画講座

part 9

参子さんと画子さんの会話



画子さん

参子さん

参子 五倍になってるのよ。中絶した女性の多くが「彼に嫌われたくなかったから…」って言うそうよ。それから「愛があれば…」とかね。本当に相手を大切に思うなら、相手の心や体のことを考えて行動するはずよ。

画子 二十歳未満で結婚している人の八割が「できちゃった結婚」という統計もあるわ。「できちゃった」という言葉には望まないのに…という意味が隠れていると思うんだけど…。

参子 女性が自ら産む産まないの意思を持つてはつきりと相手にもそれを伝える力をつけて、男性も女性の気持ちを思いやりを持つて受け止めてくれないと問題は解決しないと思うの。

画子 ねえ、この話も男女共同参画に関係あるんじゃないよ。

参子 もちろん。薩摩川内市の条例には「性と生殖に関する生涯にわたる健康と権利への配慮」を基本理念の一つとして掲げてあるのよ。男女共同参画の用語では「リプロダクティブヘルス・ライツ」これまたすぐには言えないような言葉だけど覚えてね。うん、難しいな。

画子 いつ何人子どもを産むか産まないかを選ぶ自由があるってこと。それから、この「リプロダクティブヘルス・ライツ」は、性

この情報誌に関するご意見、ご感想、取り上げて欲しいことなどありましたら、下記までご連絡ください。

編集 男女共同参画情報誌

「とらいあんぐる」編集委員

発行 〒895-8650 薩摩川内市神田町3番22号

薩摩川内市役所 企画政策部

コミュニティ課

TEL 23-51111 FAX 20-5570

Eメール: gender@city.satsumasendai.lg.jp

参子 生活、子どもの健康、思春期、更年期の健康など女性が生涯にわたって、身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態とそれを楽しむ権利という意味なの。わかったようなわからないような…女性が心も体も生涯健康でいるための権利ってことかな。でも女性だけ？男性のことはいいの？

画子 そうね。もちろん男性の健康も大切よ。でもね、ここでわかってもらいたいのは「産む性」である女性には、男性とは異なるさまざまな心身の健康問題があるってことなの。人工妊娠中絶の問題など現実起こっていることに目をそむけないでよく考えてみる必要があるんじゃないかしら…。